

# アストラゼネカ社製ワクチンについて知っていただきたいこと

本ワクチンは、海外で実施された複数の臨床試験の併合解析の結果から、約70%等の発症予防効果が確認されています。また、デルタ株による入院を予防する効果は約92%と報告されていることから、一定の防御効果を示す可能性があると考えられています。重症化予防効果については、薬事承認前に行われた臨床試験では症例数が十分ではなく解釈に注意が必要ですが、実施された臨床試験や、承認後に実際に接種された人の情報を集めた研究等から、これらのワクチンの重症化予防効果を示唆する結果が報告されており、効果が期待されています。

対象年齢：原則として **40歳以上**

**ただし、他の新型コロナワクチンに含まれる成分に対してアレルギーがあり、接種ができない等、特にアストラゼネカ社製ワクチンを希望する場合は、例外的に18歳以上40歳未満でも接種可能。**

接種回数・間隔：**4～12週間の間隔で2回(※)**

※最大の効果を得るために、8週以上の間隔をおいて接種することが望ましいとされています。

接種後12週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。

1回投与量・用法：0.5ml・筋肉注射

## ◆ワクチン接種前のご注意

◎下記のような方は接種いただくことができません。

- ・明らかに発熱している

(明らかな発熱とは、通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。)

- ・重い急性疾患(感染症、脳卒中、心疾患等)にかかっている

- ・このワクチンの成分で重い過敏症が起きたことがある

(重い過敏症とは、じんましんや腹痛、嘔吐、息苦しさなどが同時に、あるいは急激にあらわれることです。)

- ・新型コロナウイルスワクチン接種後に**血栓症および血小板減少症が起きたことがある**

- ・**毛細血管漏出症候群が起きたことがある**

(毛細血管漏出症候群は、手足のむくみや血圧低下などの症状がみられます。)

上記以外に、予防接種を行うことが不適当な状態にあると医師により判断された場合は、接種いただけないことがあります。

◎下記のような方は接種にあたり医師にご相談ください。

- ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人

- ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人

- ・心臓や腎臓・肝臓・血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人

- ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人

- ・過去にけいれんを起こしたことがある人

- ・本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起きたことがある人

- ・過去に薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人

- ・妊娠している/妊娠している可能性がある人

- ・授乳中である人

- ・その他、健康上の懸念がある人



※**献血について**(厚生労働省サイト:新型コロナワクチンのQ&Aより)

アストラゼネカ社製ワクチン接種後は、現時点をご遠慮いただいています。

採血制限期間については検討中です。

## ◆ ワクチン接種後のご注意

- ・ **主な副反応**（多くは、接種翌日にみられ、発症から1～3日以内に治まります）

注射部位の症状：痛み、熱っぽさ、内出血（あざ）、かゆみ

全身の症状：疲労、頭痛、倦怠感（だるさ）、筋肉痛、発熱感、悪寒、関節痛、吐き気

- ・ **まれに起こる重大な副反応**

ショックやアナフィラキシー、血管迷走神経反射

※接種後にもしショックやアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、接種会場では医薬品などの準備をしています。また、血管迷走神経反射は誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。

- ・ **血小板減少症を伴う血栓症**

ごく稀ではあるものの、ワクチン接種当日から**28日後**（また、2回目の接種後よりも1回目の接種後に起きることが多い）に以下の症状が認められた場合には、**ただちに**医師に相談してください。

部位	主な自覚症状
全身	脱力、まひ
頭部	めまい、激しい頭痛、失神、突然の意識の低下・消失、 突然の頭痛、突然のめまい
眼	目のかすみ
口や喉	舌のもつれ、しゃべりにくい、吐き気、嘔吐、 突然の嘔吐、突然喋りにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	鋭い胸の痛み、突然の息切れ、 押しつぶされるような胸の痛み、胸の痛み
腹部	激しい腹痛、お腹が張る、重度で持続する腹痛
手・足	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、足の激しい痛み、 突然片側の手足が動かしにくくなる

アストラゼネカ株式会社 ワクチン接種を受ける人へのガイドより抜粋

- ・ 本ワクチンとの関連は不明ですが、ごく稀に起きる疾患

### 毛細血管漏出症候群

主に手足の浮腫、低血圧、血液濃縮、低アルブミン血症などがあらわれます。

### ギランバレー症候群等の脱髄疾患

しびれや感覚障害（チクチク感、感覚がなくなるなど）、運動障害（手足の力が入りにくい、歩きにくいなど）、排尿・排便障害、目のかすみなどの視力障害

接種後に上記のような異常やいつもと違う体調の変化を感じた場合は、すみやかに医療機関にご相談ください。

詳しくは、厚生労働省：【アストラゼネカ社】接種後の注意点（2021年7月30日版）



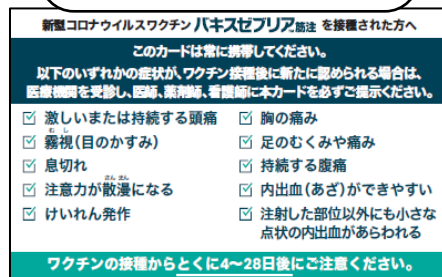
また、アストラゼネカ新型コロナウイルスワクチンサイト <https://www.azcovid-19.jp/> もご覧ください。

出典

- ・ 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き、新型コロナワクチン予防接種についての説明書
- ・ 厚生労働省サイト：新型コロナワクチンのQ&A
- ・ アストラゼネカ株式会社：バキスゼプリア筋注適正使用ガイド、バキスゼプリア筋注を接種される方とご家族へ→



このカードを接種会場でお渡しする予定です。



※接種後は、カードを常に携帯してください。

症状出現時は、医療機関を受診し、医師等にカードを必ず提示してください。